

「農林行政」について

★津山誠心会議 津本辰己



質問 ↓鳥獣被害の緊急対応として、トン板・柵等の資材のストックが、今後必要ではないか。

答弁 ↓被害の発生時期を踏まえ、防護柵補助金の受付・交付時期を、前期後

期に分ける等、今後は運用面での対応を検討していきたい。

質問 ↓市と地域が一体となり「イノシシ」等の忌避作物として、シソ・唐辛子等を植栽し、被害防護対策としては。

答弁 ↓方策の一つとして、その効果と課題について研究し、設置者に対し啓蒙も図っていききたい。

質問 ↓耕作放棄地・遊休地等を利用した太陽光発電等の再生可能エネルギー推進室の設置状況は。

答弁 ↓全庁一丸となって取り組む体制を整えるため、専門部署の設置に向けて協議を進めている。

津山市の観光ビジョンは

★津山新星会議 小椋 多



質問 ↓100万人観光都市を目指す津山市の観光ビジョンは。

答弁 ↓広域連携を図りながら、通過型から滞在型観光への脱却を目指す。具体的には、城下町津山の歴史・文化遺産の活用、体験型観光の強化等を

図りたい。
質問 ↓指定管理者制度のメリット・デメリットは。

答弁 ↓メリットとしては経費の節減、利用者への増加、地域振興の一助となっていること。デメリットは市の間接的な管理となるため目が行き届かないこと、利用者との間にトラブルが起ることなど。

質問 ↓市総合斎場の黒煙問題は。

答弁 ↓原因は作業中の操作の誤り、指定管理者に対し業務改善の勧告を行い、適正な管理運営に努めるように指導。地元町内会には検証結果を報告、再発防止に向けて取り組みを説明し、理解をお願いしている。

期待をしたい成長戦略と行政改革のすすめ

緑風会 竹内靖人



質問 ↓職員の定員適正化を進めているが人口減少により交付税は減っている。市民への影響をどうみているか。

答弁 ↓人口が減少しても事務の種類は減らない。今後は、行政規模の縮小も

想定され、役割を終えた事業や効果の薄い事業、機能の重複した施設等

は一定の整理が必要と考える。世代間バランスを考慮した市民負担、受益者負担を一定程度お願いせざるを得ないと考える。

質問 ↓津山市の将来。戦略が示されないが、成長戦略にどう取り組むのか。

答弁 ↓具体的な成長戦略の構築に向け、市の特性を活かした持続可能な戦略を組み立てる必要がある。市の成長分野を調査し、基礎データに基づく成長戦略の構築に平成25年度には着手したいと考える。

ジェネリック医薬品で薬代の軽減を

公明党津山市議団 原 行則



質問 ↓津山市の国保医療費、後期高齢者医療費の最近の推移は。

答弁 ↓国保医療費は、平成20年度は83億2千万円、平成23年度は91億2千万円で年平均約2億7千万円増加、後期

高齢者医療費は平成21年度135億2千万円、平成23年度143億2千万円で年平均約4億円増加している。

質問 ↓ジェネリック医薬品使用の促進策はどうするのか。

答弁 ↓ジェネリック医薬品を利用した場合の自己負担額の軽減を示す差額通知を関係団体と調整、検討を進めている。

質問 ↓鳥獣被害防止のため、駆除強化を進める「実施隊」の設置の考えは。

答弁 ↓実施隊員は狩猟税の軽減などの優遇措置が受けられる効果もあるが、課題等整理しながら検討していく。